

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立清新第一中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	79.5%	76.5%
令和 7 年度の目標	79.0%	76.0%
令和 6 年度の結果	78.5%	75.5%
令和 5 年度の結果	76.7%	74.4%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	66.4%	74.3%	72.8%
第 1 学年	70.5%	77.9%	82.6%

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	- 生徒による授業評価を実施し、授業計画、授業改善等の指標とする - 若手教諭へのOJTを実施する	- EDOスク（放課後学習教室）実施業者との連携を図り、C層をB層へ引き上げる - 英語検定、漢字検定の受検を推奨し、資格取得への関心を高めると同時に、客観的な学力の定着状況を把握することで学習意欲を高める	- L-Gateでの毎日の振り返りアンケートに加えて、「やりとり帳（毎日の生活記録）」を活用し、学習習慣の確立、定着に向けて助言を行う 「やりとり帳」内の「定期考査の学習計画表」を活用し、学習の計画や進捗状況などへの助言を行う
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	- 互いの授業参観や特別支援学級教員と通常学級教員との相互交換授業などを行う - 学校全体で取り組む校内研修を通じ、教科横断的・学年組織的な連携を密にする	業者による放課後補習教室とは別に定期考査前に教員による学習教室や補習を行う	- 定期考査の記録を活用し、学校での学習の定着状況への関心を高め、家庭でも保護者の協力を仰ぐ - 常日頃からの連絡や三者面談を活用し、家庭との連携を密にする - 年 3 回のスタディーウィークの実施に伴い、ドリルパークを活用して家庭学習への取り組みのきっかけを作る
成果指標	生徒による本校授業評価の質問項目 各教科「学習内容を理解することができますか」や、「小テスト、プリント、ICTの活用など学習内容が身に付くよう工夫された授業ですか」に対する肯定的な回答 80%以上を目指す	全国学力・学習状況調査及び江戸川区学力調査の意識調査の質問項目 「学習した内容について、わかった点やよくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」に対して肯定的回答80%以上を目指す	全国学力・学習状況調査及び江戸川区学力調査の意識調査の質問項目 「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」に対して、土曜日・平日共に学習習慣のある生徒80%以上を目指す